

三國幽眠 （以心） 儒者。文化七年十月一日越前國坂井郡三國港生れ、
明治二十九年五月二十日歿（八二〇一六）。講古準、字子繩、通稱與吉
郎、大學。別號清雅堂、碌々山人、鷹巢。少時彦根藩儒中川漁村に學
ぶ。京に出て塾を開き、梁川星巖、森田節齋等と交はる。のち鷹司家
の儒官となり、尊王攘夷を唱へて奔走。安政の大獄に連坐して追放處
分を受け、文久二年赦されて京に戻りた。維新後も鷹司家仕へ、明
治六年教部省權大講義となる。

編『聖廟鑽仰集初編』（明治五年四月京都・一洗堂藏梓、若林茂助出
版）、『琴解』、『古訓古事記』全三冊（明治八年一月京都・文政堂）、輯
録『救』、『洗堂白首』（明治二十年六月七日京都・一洗堂藏版、若林茂
一郎出版）等がある。